

A stylized human figure logo consisting of a black circle for the head and a blue shape for the torso and arms, set against a black diagonal background.

2018

2017.4.1 ~ 2017.9.30

2018年3月期 中間(事業)のご報告

IoTで未来を拓く
総合エンジニアリング企業へ。

東証一部

証券コード:3837



アドソル日進

IoTで未来を拓くアドソル日進

アドソル日進は、IoTシステムの全領域を事業領域とするとともに、セキュリティ・ソリューションをワンストップで提供。次世代社会システムへの移行・更新に、「安心」「安全」「快適」「環境」をキーワードに豊かな社会への発展に貢献してまいります。

豊かな社会の
発展に向けて



医療

患者さんと医師、病院をつなぐ。

医療・介護システム 等

エネルギー

家庭と電力会社、ガス会社をつなぐ。

ガス託送システム

発電所監視制御システム 等

防災

防災情報と人をつなぐ。

広域防災システム 等

宇宙

宇宙と人をつなぐ。

宇宙システム 等



航空

飛行機と空港、人と世界をつなぐ。

空港・航空システム 等

自動車・道路

ドライバーとクルマ、道路をつなぐ。

自動運転システム

先進EVシステム 等



社会インフラ
IoTセキュリティ



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2018年3月期の中間期における業績および取り組みにつきましてご報告申し上げます。

業績面では、売上高は53億円となり、収益性向上への取り組みに注力した結果、営業利益は4.0億円と期初予想を上回る結果となりました。

取り組み面では、「セキュリティ」の各施策を重点的に行ったほか、「持ち帰り開発需要の増加」を見据えた東京本社オフィス・リニューアルを行いました。今後とも、皆様方のご期待にお応えし、一層の企業価値向上を図ってまいります。

引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年12月

代表取締役社長 上田 育三



売上高 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)



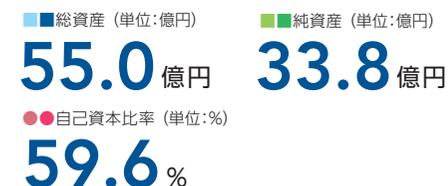
当期純利益 (単位:億円)



1株当たり当期純利益* (単位:円)



総資産/純資産/自己資本比率



*2016年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、2015年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

社会システム事業

売上高

43.5 億円 前期比 9.0%減

(単位:億円)



ビジネス分野

ガス関連、旅行関連やメディカル関連等が堅調に推移しました。電力の自由化関連は、保守フェーズに移行し、減少しました。

通信分野

5G(第5世代移動通信システム)の本格開発に備え、既存対応領域の強化と拡充策を推進しました。

制御分野

電力の系統制御関連や、防災関連等が計画通り推移しました。新領域として、宇宙関連への参画に取り組みました。

ファイナンシャル分野

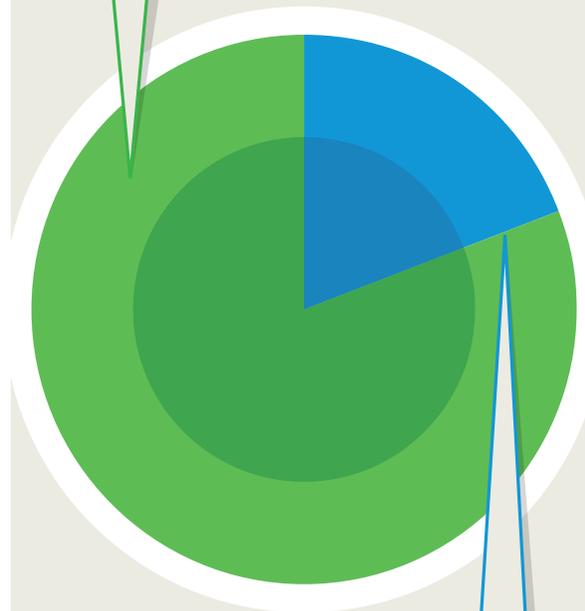
信販向けクレジット・カード関連が計画通りに推移しましたが、戦略的シフトにより減少しました。

総売上高

53.9 億円

社会システム事業
売上高構成比

80.6%



IoTシステム事業
売上高構成比

19.4%

IoTシステム事業

売上高

10.4 億円 前期比 10.1%増

(単位:億円)



組込み分野

メディカル関連が堅調に推移し、次世代自動車(先進EV)関連の体制拡大に向け注力しましたが、複合機関連が減少しました。

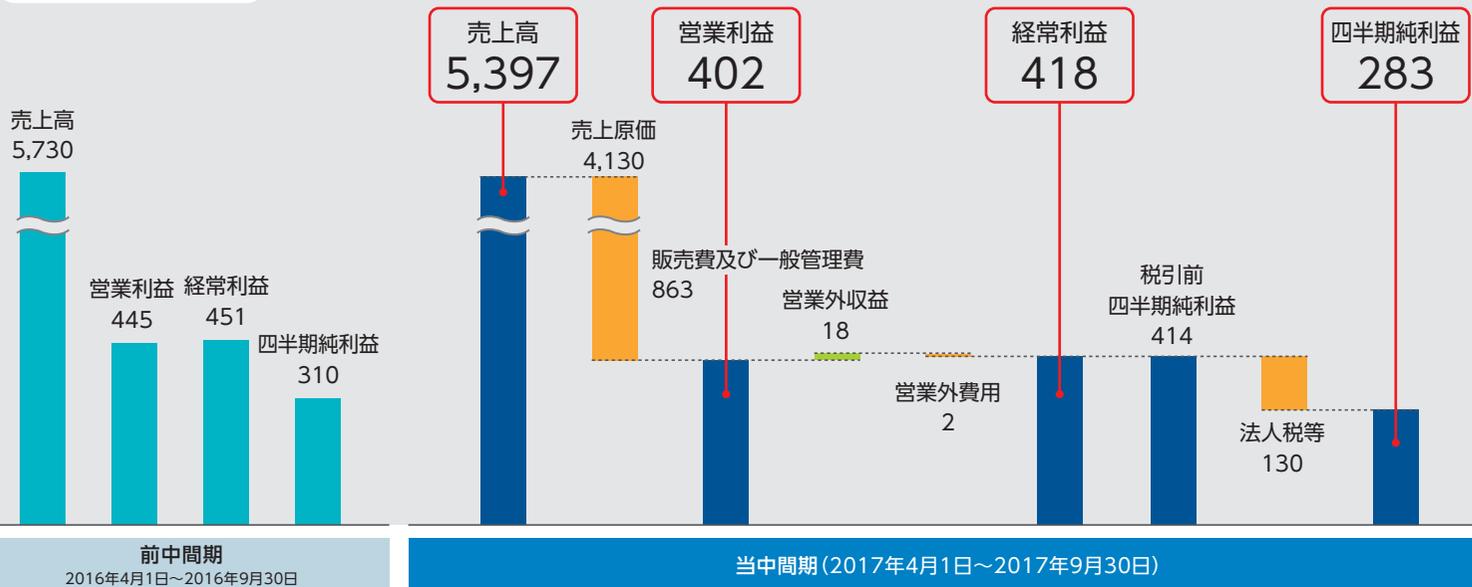
スマート・ソリューション分野

位置情報などが堅調に推移しました。セキュリティ領域では、コンサルティング・サービスが拡大し、セキュリティ・ソリューション:LynxSECURE関連で、公共ネットワーク向けでの本格採用に向けた検証がスタートしたほか、セキュリティ研修サービスを開始しました。

財務諸表 [2018年3月期(中間)]

損益計算書の概要

(単位:百万円)



Check Point

損益計算書のポイント

営業利益は、東京本社オフィス・リニューアル費用や、セキュリティに関する研究開発費用等により、402百万円と、前年同期比9.6%の減益となりました。

貸借対照表のポイント

資産の部では、流動資産が減少、固定資産が増加し、資産合計は5,505百万円となりました。
負債・純資産の部では、負債合計は、流動負債、固定負債が減少したことから2,117百万円となりました。
純資産の部では、資本金、利益剰余金が増加したことなどにより、3,387百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書のポイント

現金及び現金同等物の中間期末残高は335百万円増加し1,491百万円となりました。
営業活動によるキャッシュ・フローは387百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは96百万円の支出となったことからフリー・キャッシュ・フローは291百万円となりました。
財務活動によるキャッシュ・フローは117百万円の支出となりました。

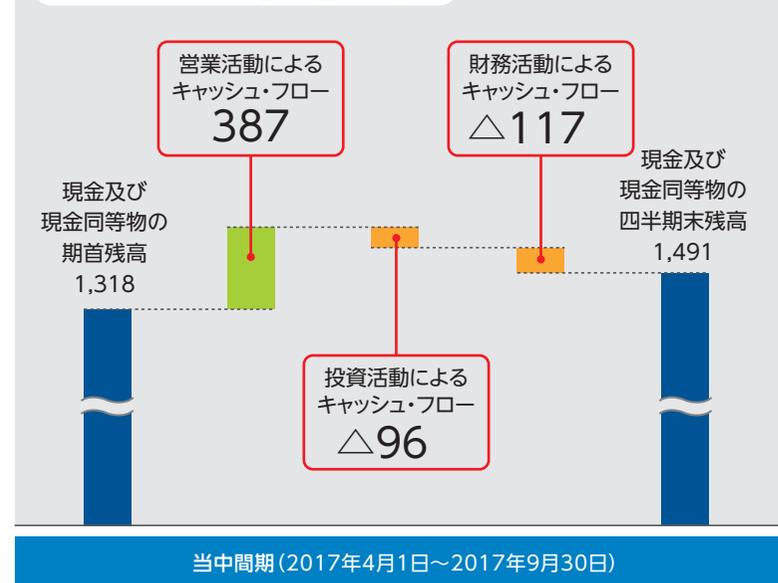
貸借対照表の概要

(単位:百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



通期業績予想 (2018年3月期)

売上高	117.0 億円	前期比 0.6%増	↑
営業利益	8.0 億円	前期比 4.2%増	↑
経常利益	8.0 億円	前期比 3.9%増	↑
当期純利益	4.7 億円	前期比 11.6%減	↓

TOPICS ① グローバル展開

ASIA

中国2拠点・ベトナム3拠点の海外オフショア開発体制！

中国・ベトナムでは、海外オフショア開発を推進中。中国2拠点、ベトナム3拠点体制で日本の社会インフラ企業様、公益企業様、メーカー企業様を中心に、サービス提供しています。



2017年10月 中国・大連にて大連WeaveSoft社との、業務提携5周年セレモニーが行われました。

USA

最先端のIoT・セキュリティを米国から！

世界最先端のIoT・セキュリティ技術の国内展開を、米国(サンノゼ・シリコンバレー)の100%子会社「Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc.」を通じて行っています。



2017年3月 米国サンフランシスコで最大のIoTセキュリティ展示会「RSAカンファレンス」に出展しました。



TOPICS ② 3年連続！「IoT時代のセキュリティ・フォーラム2017」を開催

IoT時代の セキュリティ・フォーラム 2017

本格化するIoT時代の「セキュリティ対策最前線」

主催 アドソル日進株式会社

協賛

日時 2017年10月13日(金) 13:00 - 17:30 (開場12:30)

場所 グランドプリンスホテル高輪 (東京都港区高輪3-13-1)

2017年10月13日、東京・品川の、グランドプリンスホテル高輪にて、3年連続となる「IoT時代のセキュリティ・フォーラム 2017」を開催しました。400名を超えるお客様にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。

各セッションでは、日米の最先端の「IoT」「セキュリティ対策」「サイバー攻撃対策」などを、当社、および協賛企業・団体様から紹介しました。



展示ブースでは、「IoT」「セキュリティ対策」「サイバー攻撃対策」をキーワードに、様々な製品やソリューションを、当社、および協賛会社様から紹介しました。

会社概要 (2017年9月30日現在)

会社名	アドソル日進株式会社
英文社名	Ad-Sol Nissin Corporation
所在地	東京都港区港南四丁目1番8号
設立	1976年3月13日
代表取締役社長	上田 富三
資本金	5億2,413万円
事業内容	独立系のICT企業として、社会インフラ・システムを中核にIoTシステムの開発、およびセキュリティ・ソリューションの提供
社員数	514名
拠点	東京本社 <支社>関西、九州 <開発センター>仙台 <米国子会社>米国サンノゼR&Dセンター

株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	28,800,000 株
発行済株式の総数	9,299,460 株
株主総数	5,572 名
大株主	

氏名又は名称	所有株式数(株)	持株比率(%)
アドソル日進従業員持株会	1,041,800	11.49
日本プロセス株式会社	494,000	5.45
株式会社インテック	416,300	4.59
株式会社みずほ銀行	186,000	2.05
立花証券株式会社	184,800	2.04
海瀬希予史	150,000	1.65
株式会社三菱東京UFJ銀行	138,000	1.52
今藤一行	136,500	1.51
三菱電機コントロールソフトウェア株式会社	132,000	1.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	118,800	1.31
計	2,998,200	33.07

持株比率は自己株式(232,956株)を控除して計算しております。
 又、自己株式は上記大株主から除外しております。

所有者別株式分布状況 (2017年9月30日現在)



役員 (2017年9月30日現在)

代表取締役社長	上田 富三
常務取締役	田井 史徳
取締役	田中 耕一
取締役	後関 和浩
取締役	篠崎 俊明
取締役	山本 陽次
社外取締役	星野 将史
社外取締役	峰野 博史
常勤監査役	三重野 裕彦
社外監査役	川瀬 俊治
社外監査役	大滝 義衛

株価の推移 (2013年4月1日～2017年9月末)

2013年4月1日を起点とした当社と日経平均の株価の推移を示したグラフです。2013年4月1日の株価を100として、その後どのように変動したかを示しています。



株主メモ

証券コード	3837
金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 (http://www.adniss.jp/) ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

配当金のお受け取りについて

配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2018年1月5日までとなっております。

口座振込をご指定されていない株主様は、同封の期末配当金領収証をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にてお早めにお受け取り願います。

お受け取り期間が過ぎたら・・・

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行、郵便局でのお受け取りはできません。
 配当金領収証の表面のお届出印欄にご押印のうえ、みずほ信託銀行、みずほ証券、みずほ銀行の各本店および全国各支店にお持ちください。
 ※みずほ証券は、取次のみとなります。

配当金領収証を紛失されたら・・・

みずほ信託銀行証券代行部までご連絡ください。その際には、お支払の手続きに時間を要しますので予めご了承ください。

銀行振込等のご指定をおすすめします

配当金領収証による配当金のお受け取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な銀行振込等によるお受け取りをおすすめ致します。

株主ひろば

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しています。

対象株主

毎年9月30日、3月31日の株主様(年2回)

時期

200株以上4,000株未満：12月、6月に優待品を発送予定
4,000株以上：11月、5月にカタログを発送予定

優待内容

200株以上4,000株未満

「緑の募金」付き
クオカード(500円相当)



200株以上1,000株未満	500円相当
1,000株以上2,000株未満	1,000円相当
2,000株以上4,000株未満	1,500円相当

保有期間特典

保有継続期間1年以上で、クオカード1枚(年間2枚)を追加贈呈

※保有継続期間は、毎年9月30日および3月31日を基準日として、同一株主番号で1年以上継続して保有されている期間。(同一株主名簿に連続3回以上記録)

※このクオカードには、社会貢献寄付金として「緑の募金」が付いており、公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付されます。集められた寄付金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりに活用されています。

4,000株以上

「緑の募金」付きクオカード又は「紀州梅ギフト」から選べる株主優待カタログ(3,000円相当の商品から1品)を贈呈



「緑の募金」付きクオカード
3,000円相当



紀州五代梅
550g・約24粒



紀州五代の夢想
5粒×2種(木箱)



祝梅
230g×2種



梅三華
150g×3種



紀州五代梅の心
10粒(木箱)



木熟梅ゼリー
「梅千家」8ヶ入り



紀州五代
梅肉エキス100g



五代庵
梅酒3本セット 各300ml

配当金の推移※



※2016年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、2015年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

アドソル日進株式会社

〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号 リバーージュ品川
TEL: (03) 5796-3131 (代)

